



平成 28 年 8 月 4 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 ル ッ ク
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 多 田 和 洋
(コード番号 8029 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 高 山 英 二
(TEL 03-3794-9148)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年2月12日に公表いたしました平成28年12月期(平成28年1月1日～平成28年12月31日)の連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成28年12月期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	42,500	600	700	500	13.10
今 回 修 正 予 想 (B)	42,000	400	500	200	5.24
増 減 額 (B - A)	△ 500	△ 200	△ 200	△ 300	—
増 減 率 (%)	△ 1.2	△ 33.3	△ 28.6	△ 60.0	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成27年12月期)	46,002	516	660	441	11.56

(2)平成28年12月期個別業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	21,500	300	200	5.24
今 回 修 正 予 想 (B)	21,000	200	△ 300	—
増 減 額 (B - A)	△ 500	△ 100	△ 500	—
増 減 率 (%)	△ 2.3	△ 33.3	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成27年12月期)	25,496	353	58	1.52

2. 修正の理由

連結業績における売上高の減少要因は、主に韓国子会社の売上高の邦貨換算額が為替変動により減少することによるものです。また、営業利益及び経常利益の減少要因は、市況の低迷に加え、株価下落などにより退職年金資産が減少し退職給付費用が増加することなどによるものです。親会社株主に帰属する当期純利益の減少要因は、上記要因に加え、経営効率化の目的で本年8月に予定しております当社大阪支店の移転により発生する原状回復費用などを減損損失として特別損失に計上することなどによるものです。

個別業績につきましては、上記の退職給付費用の増加や減損損失の計上に加え、関連会社貸倒引当金繰入額を特別損失に計上することにより、経常利益及び当期純利益が前回予想を下回る見込みです。なお、関係会社貸倒引当金繰入額については、連結業績に与える影響はありません。

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上